

山口県教育

Education of the Yamaguchi prefecture

明日を拓く — 豊かな実践に高める —

3



平成29年度 第70回山口県学校美術展 推奨作品
 「羽ばたき」
 下関市立東部中学校 2年生(受賞時) 池田 七子

■シリーズ「つながる③」 ～新たな明日へ～

■卒業式に込める思い

下関市立文関小学校	校長 江本 弘幸
岩国市立岩国中学校	校長 大塚ゆかり

■たびだち

長門市立明倫小学校	6年 柳田 夏歩
長門市立明倫小学校	保護者 柳田かずみ

■ありがとうわが母校

萩市立弥富小学校	6年 岩本 岳彦
美祢市立豊田前中学校	3年 小林由布奈
美祢市立城原小学校	6年 岩崎 心南
美祢市立赤郷小学校	5年 弘永 羽奈
下関市立神玉小学校	6年 末廣 咲世
下関市立神田小学校	6年 金井 敦

■ご案内

一般財団法人 山口県教育会

〒753-0072 山口市大手町2-18 TEL 083-922-0383 FAX 083-922-5768

URL <http://www.ykoyoikuk.or.jp> E-mail ykoyoikuk@ruby.ocn.ne.jp

明治36年4月第1号 毎月1日発行 発行人 会長：倉増誠彦／編集長：山本晃久

あなたのアクションは…

山口県教育会がすすめる
 「元気やまくち」三つのアクション

- ◎あいさつ 返事で 明るいやまくち
- ◎笑顔でつなく 安心やまくち
- ◎ゴミ 落書きのない 美しいやまくち

夢を実現するために、力をたくわえ、 つながりを強めよう



下関市立文関小学校

校長 江本 弘幸

本校は、昭和七年（一九三二年）に文関尋常小学校として現在地に開校し、今年で八十七年を迎える。

しかし、沿革史や下関市年表をめぐってみると明治五年（一八七二年）八月、永福寺（観音崎）に赤間関小学校として開設され、何度か改称し、一度廃校も経験している。赤間関小学校のときから考えるととても歴史のある学校である。この伝統ある学校に二年間ではあるが勤務させていただいた。大変光栄なことである。校長として卒業証書を渡す最後の卒業生に心に残しておいてほしい思いを伝えたい。

私が思う校歌に込められた思い

卒業生は、入学してから今まで何回も歌ってきた校歌。本校の児童たちは、この校歌をととても優しく丁寧に歌う。その校歌を改めて見直してみると、学ぶ者へこうあってほしいという姿勢や思いを感じた。

- 一 高いみ空を あおぎみつつ
 明るい理想 胸にしめて
 学びの道に いそしむところ
 - 二 広い大地を しかとふんで
 かがやくゆくて つねにめざし
 のびゆく力 きたえるところ
- 文関文関 ゆるがぬその名

人とのつながりを大切に
私は、今までたくさんの方々と出会ってきた。その中で、不思議なことに偶然に人と人がつながることが多々あった。そのたびに「縁」というものを感じた。この学



式辞（平成30年3月）

三 めぐる世界に 国は多く
きそうて進む 姿とともに
たゆまぬあゆみ つづけるところ

文関文関 ああ文関
（作詞 倉田 晋七）

「ここで学ぶ者よ、夢や志をもって、日々努力し、未来に向かって大きく育て」という思いである。めまぐるしく変わる社会の中で、夢や志をもち続けることは大変だ。しかし、その熱き思いこそが、人生を自分で切り開く原動力となる。今までたくさん先輩たちがこの学び舎を巣立ち、いろいろなところで活躍されている。是非これからも夢を叶えるためにしっかり学び、人のために役立つ人となつてほしいと願う。そのため、今は力をたくわえるときなのだ。

び舎で一緒に学んだことやこの地域で育ったことは、偶然ではないと思う。これからも誰かとどこかでつながっていきはざである。この出会いこそが自分を助けてくれたり、成長させてくれたりしたと感じるときが必ずやって来る。だからこそ、今の自分を大切に、友や地域の方々や積極的に関わることが大切である。

文関小学校は、養治小学校とともに日新中学校区にあり、「誰とでも気持ちのよいあいさつをしよう」と取り組んでいる。地域の方々から子どもたちのあいさつが以前より良くなったと言われる。今まで声が小さかった子が少しずつ大きくなったのは、地域のひととあいさつを交わす機会が増えてきた結果であろう。また、子どもたちを家庭だけでなく地域でも育てようと応援してくださるおかげでもあると思う。あいさつから人との出会いは始まっている。この誰にでもできるあいさつを通して、多くのひととのつながりを広げ強めていき、自分の夢をぜひ叶えてほしい。

月日の経つのは何と早いことか、あつという間の教師生活であった。情報処理技術者をめざしていた自分が機械から人相手に進路を変えたことが、つい先日のように思える。今まで、たくさんの方々を支えてもらい、何とかここまでやってこることができた。その全てのみなさまに心から感謝申し上げたい。平成三十年年度末で教職を去る身ではあるが、これからも私自身、人とのつながりを大切に、学び続けることを忘れず、日々過（こ）していきいたいと思う。



卒業生と在校生とのよびかけ（平成30年3月）

真を追究する力を鍛えよ



岩国市立岩国中学校
校長 大塚 ゆかり

私にとつての式辞とその重み

学校行事の挨拶の中でも、入学式と卒業式の式辞は、私にとつて格別なものである。出会いと別れ。人生はこの繰り返しのようなものであるが、できれば、出会いも別れも希望あるものであってほしいと願う。

「校長は挨拶で勝負する」と言われるように、各行事での挨拶から、毎月の全校集会などの話、地域・保護者への学校日より、教職員向けの校長だよりなど、校長の仕事は、挨拶に始まり挨拶で終わると言っても過言ではない。

私は、入学式の式辞内容は、「校訓について」を中心にしたもの決めていく。本校の校訓は、「誠実・自主・創造」。

昭和二十三年、
横山中学校と錦見中学校が統合し、岩国中学校は誕生した。今年の卒業式は、第七十一回目を数える。この間、生徒数は百人規模で増え続け、昭和五十六年には、平田中学校と分離。平成



卒業式風景 (平成30年3月)

十一年には、柱野中学校との統合を皮切りに、藤河中学校、御庄中学校との統合を経て、現在に至る。昭和六十年には、学校改革のため校歌が新たに制定されたと聞くが、校訓は、脈々とその建学の精神を今に引き継ぐ。歴史と伝統を重んじる校風はその精神に宿るものと、新入生には伝え続ける責務が校長にはあると考えている。

中学校での学びと生活を通じた成長

四つの小学校から入学してくる子どもたち。同じ中学校区といっても、その地域の歴史や文化は異なる。自分たちの地域に誇りを持ち、特色ある地域学習に取り組んだ子どもたちが出会い、住んでいる地域より少し広い地域へと視野を広げ、さらにその視野を日本、世界へと移していきながら、様々なヒト・モノ・コトに触れ、仲間と切磋琢磨し学び成長する場が中学校である。折しも来年度から、岩国市の全ての小中学校が、小中一貫教育へと移行する。これまでの小中連携、小中連携を基盤に、コミュニティ・スクールや地域協育ネットの仕組みを生かしながら、現在、義務教育九年のキャリアラム編成準備を行っている。

卒業生に贈る

卒業式の式辞は、歴史と伝統を引き継ぎながら新たな伝統を創り上げた卒業生の功績を讃えるものであるとともに、次代を担う子どもたちへのエールとなるもの

のにしたいと考える。平成という時代が幕を閉じようとしている今、これまで誰も経験したことのない少子高齢化時代を生き抜いていく子どもたちに期待することは、「真を追究する力を鍛えよ」ということである。



教職員・在校生からのお祝い花びらメッセージ (平成30年3月)

今後、日本の人口減少が進み、ますますグローバル化に拍車がかかることだろう。価値観が多様化し、自分自身の中の常識が通らないこともしばしば起こるはずだ。何が正しくて何が間違いなのか。その答えは、すぐに出るものもあれば、時間がかかって証明されるものもある。「真を追究する力」とは、一つには、「何事にも真心を尽くす人になつてほしい」ということ。人の心を動かす力、それは情熱、誠実、感謝、相手を思う心。この謙虚で相手を思う心で接するならば、時間がかかってもいつか道は拓かれていくことを伝えたい。

二つ目に「真理を追い求めよ」ということ。つまり、そもそもの目的は何なのか、果たして何が必要で、何を捨てるのかなど、常に研究する態度を失わないでほしいと願っている。そうした姿勢を持ち続け努力するならば、周りの信頼や協力を得て、自分の目標を達成できるとエールを送りたい。

「言うは易し、行うは難し」一歩一歩とゆつくりとした足取りでも、前に歩みを進めていくならば、いつか振り返った時、一本の道を発見するだろう。人生という一本の道。子どもたちが、果敢に未来を切り拓いていく頼もしい姿を想像しながら、今年度最後の「贈る言葉」としたい。

輝ける私になりたい



長門市立明倫小学校
六年 柳田 夏歩

「もう少しで卒業か」と考えると、さびしい気持ちがあります。

私は、ここ三隅の明倫小学校に六年間通い、一年生から今日までバレーボールを続けることができました。

この二つの事は、先生や家族、地域の皆さんに支えていただいたからこそできたことです。支えられているからこそ今の自分があり、成長出来ていると思います。その周りの方々の存在を忘れず、中学生に向けて一歩進もうと思います。そして支えてくださったみなさんに感謝の気持ちをもつことを大切にしようと思います。もう一つ支えを感じたことがあります。

私は、二年間放送委員をしました。初めての時、分からない事を優しく教えてくれる友達がいて、私も「こんな優しい人になり、友達を支えられる存在になろう」と思いました。

六年生になって放送の原稿を書くようになって、「すごいね。ありがとう」と言われるようになり、その瞬間がとても嬉しかったことは、今でも忘れられません。今では、友達も書いてくれるようになり、支え支えられているのはすごいことなのだと思うて

ます。

こんな成長できたのは、先生や友達のおかげです。これからも一歩前に進み、支えられる側ではなく誰かを支える側になろうと思います。

卒業式まであとわずかとなりました。卒業しても今までの六年間の支えは忘れずに、未来に繋がるようにしようと思います。この六年間は生涯に残る最高の思い出です。このもらった命を、これからもっと輝かせたいです。



運動会での「よさこい」演舞

きずな



長門市立明倫小学校
保護者 柳田 かずみ

小さな背中に大きなランドセルで入学したのは、六年前の春でした。期待いっぱい、胸いっぱい小学に入つたのを覚えています。

明倫小学校に入学した当初は、全児童数が二五六名と、児童数の少ない学校でした。各学年一クラスの小さな学校ですが、年間行事はいろいろあり、田植え体験や、収穫したもち米を使用した餅つき感謝の会等、地域の方々と繋がり深い学校です。このような学校で六年間学ぶことが出来たことを嬉しく思います。

そして、この学校を卒業する娘の成長を一番強く感じたのも人との繋がりでした。

地元の人数の少ない幼稚園から入学した娘は引つ込み思案な性格から一人であることが多く、なかなか友達ができませんでした。そこで、思い切つて誘われたスポ少のバレーボールに入団させました。幼い我が子を皆さん温かく迎えてくれました。

その後、学校から帰宅し、学校の事を話す娘の言葉に変化がありました。「持久走大会で、○年生の○○ちゃんが応援してくれたよ」。……人の名前が出てくるようになったのです。少しホッ

とした瞬間でした。

中学年、高学年と年を重ね、クラスの子の名前が、毎日出てくるようになりました。今では男子、女子に関わらず、その子をはじめたくさんの子の名前が聞かれるようになりました。また、放送委員を務めるなど自分から前に出ていくことも少なくありません。娘の成長に寄り添い、周りで支えてくださった皆様のおかげだと感謝しております。

この春中学校に進学しますが、これからも勉強だけでなく、人と繋がることの大切さ、楽しさ、難しさを学んでほしいと願っています。



成長を支え合った友だち

シリーズ「つながる③」～新たな明日へ～

ありがとう 弥富小学校



萩市立弥富小学校

六年 岩本 岳彦

僕が入学したときは、僕たちが休校前最後の卒業生になるとは思ってもいませんでした。だから、初めて休校の話聞いたときは、さみしいと思いました。が、弥富小学校を卒業できるので少しほっとし、祖父母や父と同じ学校を卒業できることを嬉しく思いました。けれども、休校が近づくにつれて、やはりさみしい気持ちが強くなってきます。それと同時に、六年間過ごした思い出がよみがえってきます。

僕が一番忘れられないことは表現タイムです。毎年、全校のみんなで劇を練習し、地域のお祭りなどで発表しました。このおかげで、台詞の言い回しなどが上手になりました。

この六年間で六つの劇を演じたのですが、毎年たくさんの方から温かい拍手をいただき、どの劇も心に残っています。指導して下さった岩本眞知子先生には感謝の気持ちでいっぱいです。

地域のみなさんと一緒にいろいろな行事を行ったことも大切な思い出です。毎年行っている川遊びでは、みんなで川遊びをしたり、地域の方が用意してくださった焼きたてのお

いしいアユをお腹いっぱい食べたりしました。また、学校田の活動では、児童が少なくて僕たちだけでは作業が大変でしたが、地域や保護者のみなさんが協力してくださいました。地域の方々とお話をしながら田植えや稲刈りをしたり、収穫したもち米を使って作ったぜんざいを食べたりしました。いつも弥富小学校を支えてくださった地域のみなさんにはとても感謝しています。

弥富に生まれたこと、弥富小学校を卒業することを誇りに思っています。これから生活していきたいです。弥富小学校は休校になりましたが、これからもうるさと弥富を大切に思う気持ちには変わりません。



つながり学習発表会「6匹のねこ」

地元を知った一年間



美祢市立豊田前中学校

三年 小林 由布奈

私たち三人が「豊田前中学校最後の卒業生」として過ごしたこの一年間は、故郷に対する思いが強くなった一年間になりました。なぜなら、私の住む美祢市や豊田前町のことを詳しく知り、魅力を発見する機会が多かったからです。

そのきっかけとなったのは、ジオパーク全国大会です。私たちは、昨年十月、北海道で行われたジオパーク全国大会に参加しました。大会で発表したポスターは、「三億年分の大地の記憶」と題し、四か月もの時間をかけて作り上げたものです。日本ジオパークに認定されている秋吉台のことを

秋吉台ジオパークの方々に教えていただいたり、化石博物館に行つて美祢市の無煙炭について学んだりする中で、私は地元の自然環境がどれほど貴重なものなのかよくわかりました。そして、石炭によって栄えていた当時の豊田前の人々の思いが詰まったこの町で、カルスト台地や秋芳洞といった豊かな自然に囲まれて過ごしていることに誇りを持つようになりました。全国大会本番は、地元への熱い思いを持って臨め、他県のジオパークの方々の前でも堂々と発表することができました。

その経験を生かして、校内文化祭では「繋ぐつながる」をテーマに、豊田前の歴史や将来について考えても見えるようなプログラムを準備しました。エンディングでは、私たち生徒一人ひとりが「自分の思う豊田前町の理想の未来像」を発表しました。文化祭後には、地域のたくさんの方から「感動した」などと言っていただけで本當にうれしかったです。

残念ながら、歴史あるこの豊田前中学校は今年度で閉校となってしまいます。しかし、私たちにとっては、中学校生活三年分の思い出が詰まった大切な学校です。これからも、豊田前中学校の卒業生であることに誇りをもち続けたいと思います。そして、将来どのような職業に就くかわかりませんが、いつか故郷に貢献できる人になりたいです。



全国ジオパーク大会での3人

ありがとう城原小学校



美祢市立城原小学校

六年 岩崎 心南

私が通う城原小学校には百四十六年の歴史があり、私の祖父や、母、友達のお父さんも卒業生です。皆の思い出の詰まった学校で過ごせることに喜びを感じていた私は、閉校になると知った時とても悲しい気持ちでした。

しかし、同時に最後の卒業生になるということに責任と誇りを感じ、残りの日々を大切にしようと思いました。

人数が少ない城原小学校での行事や日々の活動はいつも誰かに支えられていました。毎朝、私たちと一緒に登校して下さる見守り隊。読み聞かせや本の整理をして下さる図書ボランティア。花を生けたり、畑を貸したりしてくださる方など沢山の協力があつたからこそ私たちは楽しく、安心して過ごすことができました。音楽祭では足りないパートを先生が担当され、全校が一つになって演奏しました。運動会では父母も多くの競技に参加し頑張る姿を見せてくれました。最後の運動会での仮装パレードは忘れられません。学習発表会「わくわく祭り」では、地域の方々による餅つきや、三世代でチームを

組んで競うグラウンドゴルフで盛り上がりました。マラソン大会では沿道からの地域の方々の声援が頑張る力になりました。

どの行事を思い出してみても、そこにはいつも沢山の笑顔と優しさがあり、私たちをいつも見守り支えてくださった方々への感謝の気持ちでいっぱいになります。

学校生活では人数が少ない分、一人一人の役割が大きく責任感が養われたと思います。また、限られた中で自分達なりに工夫して楽しむ事や、少ない友人関係の中で我慢する事、自分を変える努力をする事を学びました。

学んだ事や経験した事は私たちの力となり、城原小学校は私たちの心の中にあると思います。沢山の思い出があり、山の出をありがとう。



ありがとう、赤郷小学校



美祢市立赤郷小学校

五年 弘永 羽奈

「赤郷小、閉校だつて。」

お世話になった赤郷小学校が今年で閉校すると聞いて、すごくショックでした。なんだか心にぽっかりと穴があいた感じになりました。赤郷小ですごしてきた五年間を思うと、たくさんの思い出が浮かんできます。

一年生の時の思い出は、入学式です。教室に入っただけでドキドキしてきて、体育館に行く前には、心臓が破裂しそうなくらいに緊張しました。でも、上級生が側で優しく接してくれたおかげで、緊張もふつとびました。

二年生の思い出は、赤郷ふれあい祭りで「ぼくたち赤郷お仕事たんけんたい」という劇をした事です。地域の方の家でインタビューをした時には、生野菜を食べさせてもらったり、カルピスをいただいたりしました。たくさんの方のおかげで、楽しいふれあい祭りになりました。

中学年での思い出は、なんといつても、四年生になった時の担任の先生との出会いです。先生は社会科が得意な先生で、社会科の時間に資料の探し方や見方、まとめ方などを丁寧に教えてくださり、調べ学習の楽しさを学ばせてくださいました。私は、あま

り好きではなかった社会が、少しですが好きになりました。

そして、今五年生。最上級生になり、一年ぶりに新しく入学してきた一年生のお世話をたくさんできたことが一番の思い出です。今まで、教えられる側だったので、いざ、教えるとなるとうまく説明できず、とてもむずかしかったです。

この文章を書いている時、閉校ボードは、六十二日を示していました。赤郷小での卒業生になれないことが残念ですが、五年間本当に楽しかったです。これまでたくさんの方々に支えていただいた。赤郷小が閉校して悲しいのは、赤郷地域の方々も同じ気持ちだと思います。たくさんの方々と共に感謝の気持ちで閉校式の日を迎えたいと思います。



ともに閉校を迎える仲間たち



ありがとう 神玉小学校

下関市立神玉小学校

六年 末廣 咲世

三月三十一日、歴史ある神玉小学校は閉校します。

私の父も祖父母も、神玉小学校の卒業生です。祖母は、弁当をストーブで温めていたことなどを話してくれました。閉校すると聞いて、とてもさみしいと言っています。私も同じです。

神玉小学校での六年間の思い出はたくさんあります。

まず、赤米づくりです。貫頭衣を着て、石包丁やあわび包丁を使うなど、弥生時代の雰囲気抜群です。弥生時代の貴重な遺跡が多く残る神玉ならではの行事なのでちよっぴり自慢です。次に、神田岬遠足があります。赤米で飯盒炊飯をしたり、海で拾った貝でみそ汁を作ったりします。海面を下に見ながら渡る丸太渡りは、スリル満点で、渡れたときの喜びは最高でした。

また、魚もさばきました。アジや特牛イカなど、ぬるぬるして魚臭くなるといやでしたが、やってみると意外に何とかなるものです。男子の方がうまいのに驚きました。

どの活動でも、地域の方がたくさん助けてくださいました。毎日の登

下校も、ずっと一緒に歩いてくださる方がおられます。私たちにとつて、大きな大きな応援団です。

私の卒業と一緒に、神玉小学校はなくなりません。中学校でも、小学校で学んだことを大切に生かしていきたいです。そうすることで神玉小学校が私の心の中でずっと続いていくと思います。

ありがとう神玉小学校。楽しい六年間でした。勉強のこと、自然のこと、地域のこと、たくさん学びました。中学校への通学は、小学校の前を通ります。神玉小学校に見られて恥ずかしくないようがんばっていきたいと思います。



赤米の稲刈り



ありがとう 神田小学校

下関市立神田小学校

六年 金井 敦

神田小が閉校するということを初めて知ったのは、六年生になった始業式でした。その時は、学校が閉校するということがどういうことなのかよく分かりませんでした。でも、一つずつ行事が終わり、残りの行事が少なくなっていくと、閉校することの意味が少しずつ分かってきました。

神田小のすぐ横に、東法湾という海があります。一学期の終業式は東法湾です。いかだから海に飛び込んだり、友達と泳いだりしました。一年生の頃は、昼休みに先生や友達と一緒に、よく遊びに行きました。化石や魚を見つけた時はとても嬉しかったです。

三・四年生の時は、トコロテンを作るテングサを採集しました。海の中の少しわかりにくいところにテングサが隠れていることもあり、宝探しゲームをしているように楽しかったです。

校舎の裏山には東法園があります。冬になると、よく昼休みに遊びに行きました。ブランコやターザンロープ、ツリーハウスなどの遊具がたくさんあって、とても楽しかったです。他にも、おにごっこをしたり秘密基地をつくったりと、思い出がたくさんあります。

神田小は、みんなの仲が良く、協

力して一つのことができます。五月にある運動会のために、三月から準備を始めます。応援歌やダンスの振り付けを考え、練習してはみんなで振り返り、いいものに仕上げていきます。また、地域の方との交流が多いです。三世代ふれあい交流会では、地域の方から餅のつき方やしめ飾りの作り方、昔遊びを教えてくださいたいです。他にも登下校や多くの行事で僕たちを助けてくださいたいです。

神田小が閉校するのはとても寂しいです。それは地域の方にとつても同じだと思います。

ぼくは、四月から中学生になります。

神田小でした多くの経験や、地域の人のふれあい、神田の自然を忘れずに頑張りたいです。



東法湾でのいかだ遊び

ホームページのご活用を!!

山口県教育会

検索 又は URL:<http://www.ykyoikuk.or.jp> で



◇アクセス数が20,000件を越えました。いっそうご活用いただきますようお願いいたします。

《こんな時に、ぜひ!!》

【活用その1】

◎研修・発表会などで山口県教育会館を使いたい!
*借りることができる施設の規模や備品、料金などを検索でき、申請書もダウンロードできます。

一般財団法人 山口県教育会の事業

■教育世論の高揚事業

- やまぐち教育の日・教育県民大会

・大会の沿革→

・「やまぐち教育の日」協賛行事の紹介(「やまぐち教育の日」とは→)

[平成29年度協賛行事一覧→](#)

[平成30年度協賛行事一覧→](#)

・第16回やまぐち教育の日・第45回教育県民大会 光大会(平成29年度) [要項→](#)

・第17回やまぐち教育の日・第46回教育県民大会 山口大会(平成30年度) [要項→](#)

- 教育活動の推進

・「元気やまぐち」三つのアクション→

- 地区別教育振興フォーラム [平成29年度関係書類→](#)

[平成30年度関係書類→](#)

- 教育活動の情報発信

・情報紙「山口県教育」の編集・発行→

- 各種キャンペーンとの連携

■教育研究の奨励事業

- 教育維新・青年教師の集い

・平成29年度 第8回教育維新・青年教師の集い→

・平成30年度 第9回教育維新・青年教師の集い→

- 学校教育・社会教育の支援

・現職研修奨励事業

[平成29年度実施要項→](#)

[平成29年度助成団体等一覧・活動報告\(随時\)→](#)

[平成30年度実施要項→](#)

[平成30年度助成団体等一覧・活動報告\(随時\)→](#)

- 日本連合教育研究大会への参加

・第69回日本連合教育研究大会長崎大会(平成29年度)

[御案内→](#) [参加申込書→](#)

・第70回日本連合教育研究大会桐生大会(平成30年度)

[御案内→](#) [参加申込書→](#)

■教育環境の整備事業

- 「人と人」「人と自然と文化」を大切に地域活動の支援奨励

・地域活性化活動奨励事業

[平成29年度実施要項→](#)

[平成29年度助成団体等一覧・活動報告\(随時\)→](#)

[平成30年度実施要項→](#)

[平成30年度助成団体等一覧・活動報告\(随時\)→](#)

- 地域活動の推進

・地域活動振興助成事業

[平成29年度実施要項→](#)

[平成30年度実施要項→](#)

- 支部活動の充実

・支部別研修会

[平成29年度要項→](#)

山口県教育会館のホール・会議室等の使用はこちらから

情報紙「山口県教育」

会費手続に関する
認印式

会費納入様式

更新情報

山口県
へき地教育振興会

H31.1.4
あけましておめでとうございます。本年も
よろしくお祈りいたします。
情報紙「山口県教育」11月号をアップし
ました。
H30.12.3
情報紙「山口県教育」12月号をアップ
しました。
H30.11.19

信濃教育会

徳島教育会

徳島防長教育会

徳島防長俱樂部

【活用その2】

◎研修や研究のための助成を受けたい!

- *山口県教育会が行っている複数の助成事業について、助成の対象や助成金額、手続きの方法等を検索できます。
- *各助成事業の申請様式・報告書様式等をダウンロードできます。
- *過去に助成を受けている団体や活動内容を閲覧できます。

【活用その3】

◎山口県教育会が実施する研修会について、知りたい!

- *「やまぐち教育の日 教育県民大会」について、これまでの大会の沿革や趣旨、開催年度の詳細を検索できます。
- *日本連合教育会の全国大会について検索できます。山口県からの参加について詳細を検索できます。
- *「青年教師の集い」の要項や申込様式をダウンロードできます。

【活用その4】

◎「金子みすゞ賞」童謡詩、「わたしの志」作文の応募について知りたい!

- *募集要項により、応募対象や募集期間、応募方法について検索できます。
- *山口県教育会が販売している書籍や教育関係諸帳簿について、単価や購入方法について検索できます。